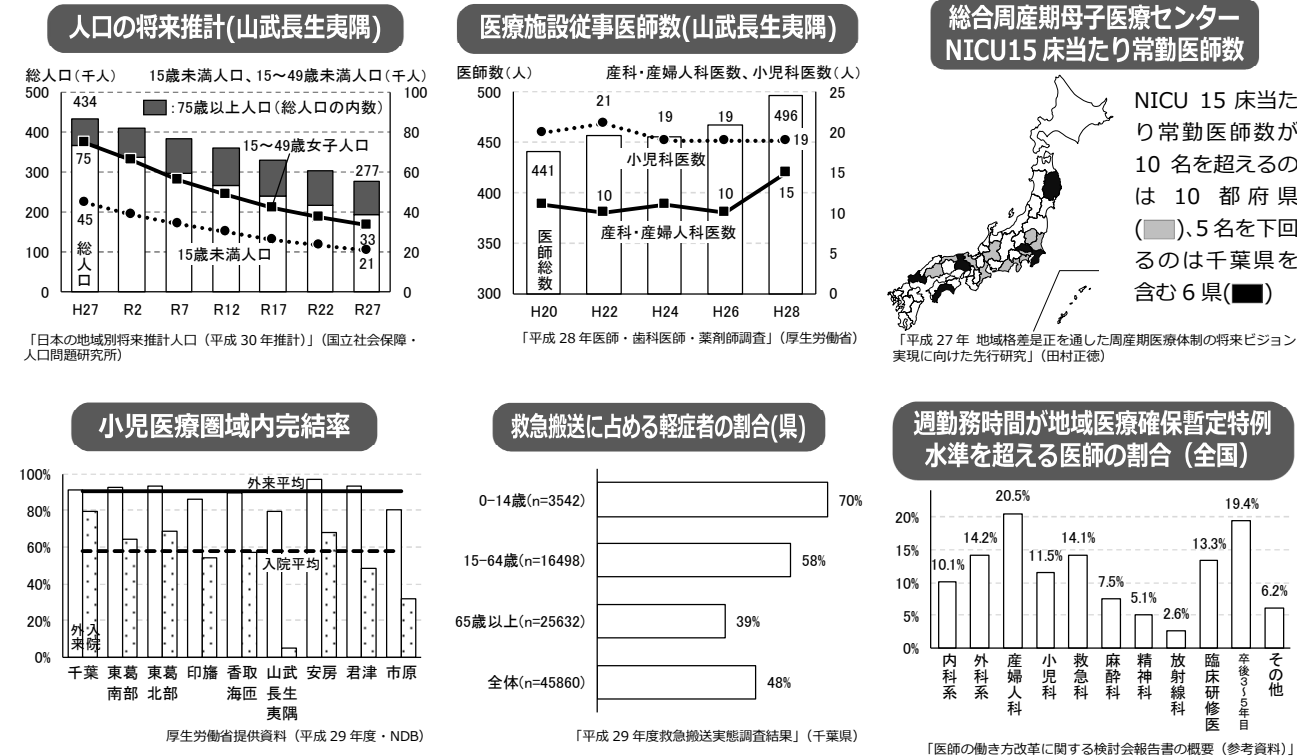


千葉県保健医療計画の一部改定について（医師の確保に関する事項）

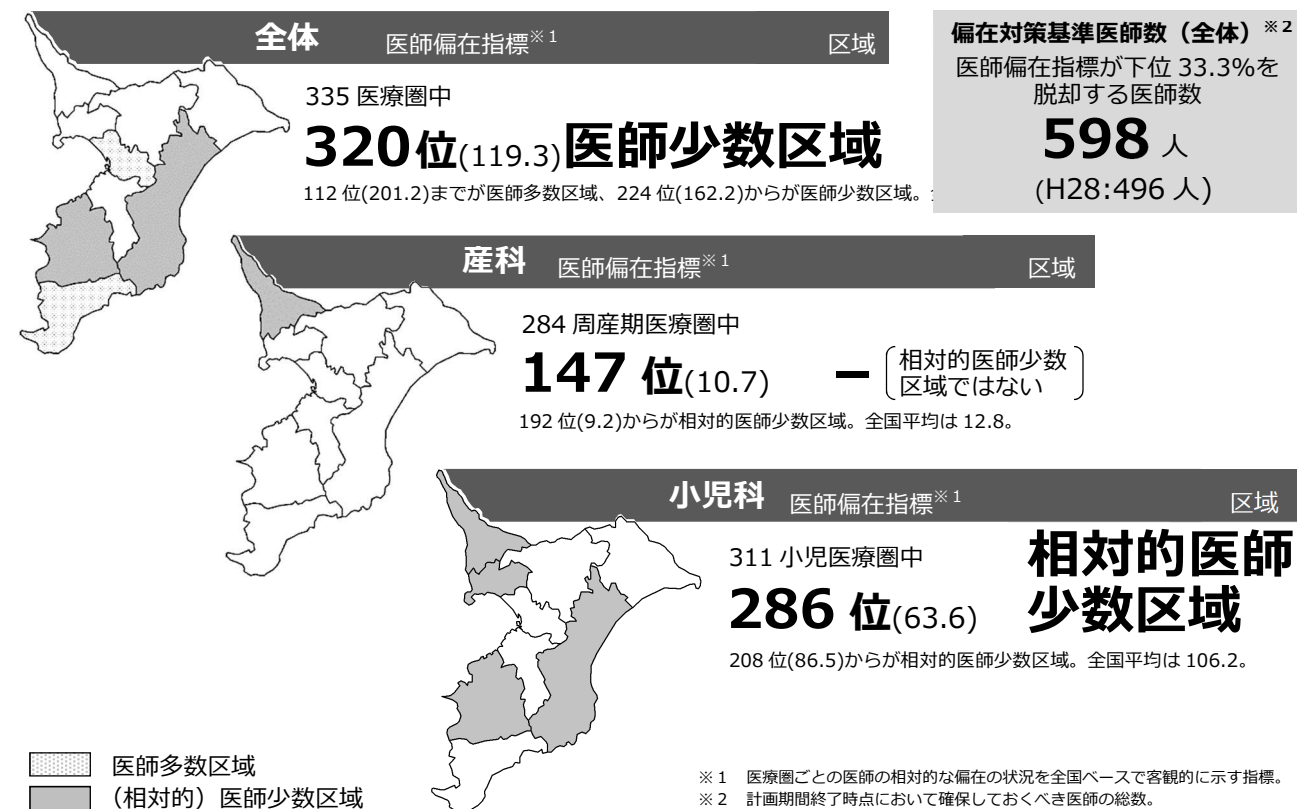
山武長生夷隅保健医療圏

茂原市、東金市、勝浦市、山武市、いすみ市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町

◆ 参考データ



◆ 医師偏在指標と区域等の設定



◆ 現状・課題

| 医師全体(山武長生夷隅保健医療圏) | 産科・小児科(千葉県) |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 医師少数区域 臨床研修基幹施設はなく、2の専門研修基幹施設(R1 募集定員2名)が立地 後期高齢者人口は増加の見込み 医師の働き方改革への対応が重要 | <ul style="list-style-type: none"> 産科医、小児科医ともに相対的医師少数県 医師の働き方改革への対応も見据え、周産期母子医療センターや小児の入院医療を担う施設等の医師確保を含め、全県的な連携体制が重要 |

◆ 医師確保の方針と対策(たたき台)

研修環境の向上や医師のキャリア形成支援、医師多数区域等からの医師派遣の促進、働き方改革への対応等により、積極的に医療圏内の医師数の増加を図るとともに、医療機関間の役割分担と連携、上手な医療のかかり方への県民の理解等を促進し、地域の医療需要に対応していく。

1 医師数の増加

【主な対策】

- 自治医科大学に学生を送り、地域医療に従事する医師の養成・確保を図る
- 医学生に対する修学資金の貸付けを行い、将来、地域医療に従事する医師の確保を図る
- 修学資金の返還免除の要件として、修学資金受給者は一定期間、特に医師の確保を図るべき区域等の医療機関で勤務することとする
- 修学資金受給者が地域医療への従事とキャリア形成を両立できるよう、県内の研修施設と連携して支援に取り組む。また、特に医師確保の厳しい産科や新生児科、救急科を志望する修学資金受給者に対しては、そのキャリア形成に当たって配慮を行う
- 県内医療関係者等と連携し、臨床研修や専門研修に係る研修環境の充実や、その魅力についての情報発信に取り組み、研修医・専攻医の確保と、県内定着を図る
- 医療機関と連携し、地域医療で重要な総合診療専門医の養成・確保に取り組む

2 医師の働き方改革の推進

【主な対策】

- 医師の働き方改革へ対応する医療機関や、育児と仕事を両立できる働きやすい職場づくりに取り組む医療機関を支援し、医師の県内定着を図る
- 医療機関の具体的な役割分担を明確化し、地域における効率的な医療提供体制の整備を進めるとともに、チーム医療やタスクシェアリング・タスクシフティングの推進を医療機関に働きかける
- 分娩を取り扱う医師や新生児科医など、特に医師確保の厳しい診療分野について、医師の処遇改善に取り組む医療機関へ支援を行う

3 上手な医療のかかり方への理解促進

【主な対策】

- 各種媒体を通じた情報発信等により、県民に対するかかりつけ医等の定着に努めると共に、適切な受療行動についての理解を促す
- 夜間に小児患者の保護者等からの電話相談に対し適切な助言を与える小児救急電話事業の実施により、保護者等の不安解消や救急医療機関への患者集中の緩和を図る

4 効率的な医療提供体制の確立

【主な対策】

- 特に、産科及び小児科については、役割分担を踏まえた医療機関間の連携の強化と、医療圏を越えた支援体制やネットワークの充実に取り組み、限られた医療資源であっても効率的で質の高い医療提供体制の確保を図る